



Title	都市調査項目 第一巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1960
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77360
Type	manuscript
File Information	N038_0135412S35.pdf



MADE BY YAMATO NOTE CO., LTD.
USED SUPERFINE FOOLSCAP MANUFACTURED IN JAPAN

NOTE BOOK

都市調査項目
第一卷

昭和十五年四月十日

D
W
A
4

YAMATO NOTE

全口都市仲間における
都市調査はその都市の都市としての
位置と役割を把握するものである。
具体的に全体的に

都市生活

都市生活の基盤的條件の調査と研究

林

12
[天]
12
天

(一) 中世の文壇
 (二) 文壇の発展
 (三) 文壇の衰退
 (四) 文壇の復興
 (五) 文壇の発展
 (六) 文壇の衰退
 (七) 文壇の復興
 (八) 文壇の発展
 (九) 文壇の衰退
 (十) 文壇の復興

今に民
多の
堵
首都
又取
機周
は何
下
口民
記

3 口
物交 流
運 輸
(生活 消費 金 貨 貨物) 貨物
の

人入
（生）
仕入
（業）
（金）

一、心——通信（口）
（生活）
（生活）

交通運輸の施設
調査報告書

調査対象：
調査期間：
調査方法：
調査結果：
調査の意義：
調査の結論：

映出領袖之雄姿
調重國威
取其宗緒

八、文化交通における二の型の認識。商業型と工業型。文化交通と土地との地帯的商業的都市。文化の

文化建設

創作工場としての工業的官能都市
創作工場都市性の中核の礎石（工場・物産館。文化
機関・博物館）

（文化機関の中心）

二、経済活動の中心を形成する要素として日本の都市
が形成された（金融の中心を形成する要素として日本の都市
の形成）その都市の構造の形成

（金融機関の調査の意義）（財力の量を知ること）
による都市生活の調査

忘れたくないこと

1. 都市生活の中心に金融機関（市場）の形成

金融の中心にあること

2. 都市生活の中心に金融機関の形成の中心にあること

金融機関が市民生活の最低の保障

市民生活の保障は市民生活の最低の保障

市民生活の保障は市民生活の最低の保障

市民生活の保障は市民生活の最低の保障

市民生活の保障は市民生活の最低の保障

市民生活の保障は市民生活の最低の保障

更にこれを

都市は都市としての本来の機能を以て
その活動を目毎につけて罷居せしむるに
自から様々の復讐な社会生活に當るを
して居るのかくの如き復讐な社会生活に

都市の

都市の社会構造としての一定の様相の中で行は

水
の
し
の
あ
の
月
区
を
考
へ
主
は
船
に
生
け

の場と生業の場を枢軸として国民生活を

つ
い
け
て
た
も
の
で
あ
る、
そ
の
外
に
金
持
の
お

人生の目的は、
自己の生活のため

都府佐昆が六十年の居ては活

[illegible]

西
 カ
 ヲ
 女
 少
 衆
 小
 子
 ん
 を
 生
 の
 為
 は

12 收め、女子の爲に書物を生業とするは
 2 女学校の爲に書物を生業とするは

[illegible]

海拉尔的早晨

環と世帯が互にあり、互に
互に職環

矛盾的統一

水の都
瓦
七
の
水
北
家

[illegible][illegible]

又て
ある
もの
を
一
冊
の
紙
に
書
き
上
げ

一萬六千五百一十八

(一) 人の心の底に
peer の心を
置けてある。世帯

又戦場の
ありけり
と合戦の
程の物

職場の名刺の作り方

てお
ふ
平
常
の
生
活
に

近頃の我々標準IV対峙の異質性の研究

()

社会精神の活用

A 世帯調査

一、家族と世帯との不一致の解消

一家物語 調書 とこまて 家譜より 読み解く

二、世
三、世
四、世
五、世
六、世
七、世
八、世
九、世
十、世
十一、世
十二、世
十三、世
十四、世
十五、世
十六、世
十七、世
十八、世
十九、世
二十、世
二十一、世
二十二、世
二十三、世
二十四、世
二十五、世
二十六、世
二十七、世
二十八、世
二十九、世
三十、世
三十一、世
三十二、世
三十三、世
三十四、世
三十五、世
三十六、世
三十七、世
三十八、世
三十九、世
四十、世
四十一、世
四十二、世
四十三、世
四十四、世
四十五、世
四十六、世
四十七、世
四十八、世
四十九、世
五十、世
五十一、世
五十二、世
五十三、世
五十四、世
五十五、世
五十六、世
五十七、世
五十八、世
五十九、世
六十、世
六十一、世
六十二、世
六十三、世
六十四、世
六十五、世
六十六、世
六十七、世
六十八、世
六十九、世
七十、世
七十一、世
七十二、世
七十三、世
七十四、世
七十五、世
七十六、世
七十七、世
七十八、世
七十九、世
八十、世
八十一、世
八十二、世
八十三、世
八十四、世
八十五、世
八十六、世
八十七、世
八十八、世
八十九、世
九十、世
九十一、世
九十二、世
九十三、世
九十四、世
九十五、世
九十六、世
九十七、世
九十八、世
九十九、世
一百、世

[illegible]

三集合住居(公)水ノクニフアト(電)世

又係新屋

四、任正往來未訖

六二五 陽春
賦 卷之五

平坡遺書

一、次、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

「海軍大臣」

之機調平

イ、業所の業種別規模別総数

口余
 石機
 三
 力
 之
 十
 機
 用

事業所の建設・団重

[illegible]

九か九第の 横道に 平城形 虎保王

人地境の市民組織の形成事情

大都市生活の秩序維持のための施設

都市住民の豊かさを最低の点に下す。

都市行政機構は主として都市の生活

体制は内外の隣接都市に及ぼす影響

民の生活を擁護する合理的

な見方より有効な組織である。

都市の富力は右の如き組織の力に

は惜しまなく活用さるべきものである。

都市の施設は主として都市の富力

を基として居る。然し都市の富力を増進

に民間資本があるのではなく、都市生活の

安全度の増進の一つに供するものである。

(四) 都市の施設

1. 消費事情

a. 人の物の組織的調整

2. 道路事情

上下水道の施設

3. 都市物産事情

貨幣史概説

4. 交通事情

最近十年の交通事情

5. 病院及診療

6. 産業事情

産業施設事情

7. 市議会決算

報告

都市公共事業

費目別

東京の形態は略々自然都市の外観を
 有して居るもの、行政都市は自然都市
 の大部分を有するもの、けれども自然

都市と行政都市とは明くおなじ政

ものではない。両者のソコするところを

最もよく知りしめて、よほど地圖の

市とわたり行政都市と東京の形態と

の一致不一致の關係である。行政部

市と自然都市のソコの關係は究

の途上にある。都市の形態を

と居る。

行政市の形態であるというの、東京の
 形態は生業立地條件によつて決ま

(五)

行政都市と東京の形態

(都市の自然の條件を國上に明示せ
 とするもの。行政都市は自然都市
 の性質を有するもの、東京の形態は自然
 の性質を有するものである。)

1. 人口百人を一点として居住人口を
 地圖上に明示
2. 従業員百人を一点として従業員
 明瞭に示す、また地圖の上に

東京の都市としての都市の形態

1. 居住建物と工業建物の別を地圖
 上に示す
2. 居住の各種統計
3. 商業人口の統計
4. 通都並府人口の統計
5. 市外人口の統計

と全市の生活、人口、面積、地形、
 地物、土地利用

と全市の生活、人口、面積、地形、
 地物、土地利用

周知を

都市の現状の整理のためは都市の

丁史の整理の途上において現在を統

案する事は要である。将来のための

計画に對して準備する事は最

優先第一の要務である。見出し

あり。丁史の整理は左折

右折は多しとて整理はあり

得なからいふ。

7. 行政指導 行政都市制

(六) 丁史と計画

① 明治以来の行政組織の沿革と

人口の増加と行政組織の増大

② 明治都市の発展とその背景

③ 都市の発展とその背景

④ 都市の発展とその背景

⑤ 都市の発展とその背景

⑥ 都市の発展とその背景

⑦ 都市の発展とその背景

⑧ 都市の発展とその背景

⑨ 都市の発展とその背景

丁史の整理と計画

何の爲の都市政策

石之林

齊民要術

近代の型為

人民生活愉快

156
34
49
50
51
52
53

文化
行政
の
現
状

究極子

金瓶梅

都不得而知

7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530

古

位利を以て争ふは、余の都市に比類

上下の系列にあげ、その都市の位置と交通

各一
大
充
給
あ
と
ん
た
植
木
不
了

[illegible]

と
一
一
名
の
都
市
の
人
口
は
一
億
を
超
え
て
お
り
ま
す
が
、
こ
の
人
口
の
増
加
は
、
主
に
大
都
市
に
お
け
る
こ
と
が
多
い
と
思
わ
れ
ま
す。

大下の可い高の著手
り、に可い高の著手
た、に可い高の著手

九
二
五
水
七
九
分
七
分
五
分

都市軌道の進点

一六九

栗林

伍拾二

結節大

五力尖

北 橫 邊

五

精

五ノ五

遇主

德大

口
C
X
Z

都市の特色

沈氏

100

基本構造と機能について

其都市の理解を為し知より又、土地の良さを

網羅的、現解の深さには要らぬ

2 深淺の別はあゝか
知のふたは、すく

こゝに示されてゐる。其の本質を概して述べよう。

田舎者ハト大ニ同
 フラハニ飛
 上ハはた
 下ハはた

ちんちん。異帯。上。の。調。子。は

物名に調子を得るは

[illegible]

本邦を以て又異常の

島嶼の平均年数に近いか

20
し異常の多かつて、
週型といふ人も

其都市。基本の構也。此節に二二

人傳の正傳は一部では有

みはは男と
 ら陰人
 うて去件
 授し
 人
 の体
 の正業
 な
 知
 る
 の

男
 常
 同
 中
 日
 出
 ち
 常
 居
 の
 人
 体
 は
 常
 々

とい
 の
 人
 同
 も
 日
 は
 は
 は
 居
 の
 常
 々

生、学を以て日本に於ける大抵は小がソ
群の都市には在り。先きに群は都市の
正常な一部を成してはなす。
スルムに於ても同様なりが不い。

一應視察する事は申すであらう。その一應
の視察の為に仲介する所か、こゝでは
否と云ふ事。

政策の^{ある}方針にする事あり。ある指導の
ありし一應知るか、かくする事あるが、あ
れ、いふのであつて、その道にのま
る所を、然るに、あつた、わづらひのは
当然である。

何れにしても、たゞめに、然し、自分を知
る事、又は、わづらひく、詳細にならへ
て、その様な、目では、ない。

都市の基本的な、戦後と構造的に

ついで出来よ、又、過不及なく同一深を
において浅すゝめの原因か、こゝに
ある。

⑩ 自身の職業活動に關して對

野之部、都立生活、何の目的

のふくむく
知^しる^る
子^この^のは^はふ^ふく^くる^る

合下
カ
①
一の
之の
都
平に
特
任
し
て
研
究
す

お決意し
お礼を
し
て
下さ
る
こと
を
願
ひ
ま
す

[illegible]

女不いカ物電カ高カ低カ人衆カ

の要い交通に便を

文化か通んて、か否かの滑る文化の程多

氣は土に下りて知れぬものなり。

2. この都市に住む人が、自分の都市をいかに

他の部と
心通し
なり

実業家が自分の業の發展と同時に市の發展の
ために知りたがる

物價指數 人口動態指數

※これはその都市の發展改善に積極的にかゝる方
が、ある人である。政治家、評論家、實業家、
市民である。実業家は、
比較して、これと人々が持つべきものがある。実業家は、
そのために、
よりよい設備や組織を、そこに生み出す。
新事業の発見、つまり経済に關する方
面での政治に關する方面、その都市に
必要とする事業の活動の促進の把握
と批判、市政の比較、教育、
警察、娯樂、
生活、文化、
市、
3、市政改善の、
2、この都市の、
1、欠陥、
この施策、
この施策、

に他市を見出す場合都市計画の下請

中、商社や商店等々の市況調査

宗廟神社の立地調査等々調査

分派資料を基に特殊な調査の

実証的研究の為に社会の条件調

査の中心とし

その他都市社会の都市研究の為に

右の如き種々の調査の何れも

従ってあるべきもの調査調査

見出しを以てあるもの調査調査

のは都市の調査と相違する

調査項目です。種々の調査の

以外にはない。

それらの能くするものは実証的研究
の上にあり、その結果、今日の現代都市
理論以外にはない。

④ 近代化の過程
その都市の都市化が、このように、映

画の教により、その都市化が、このように、大

な都市化が、このように、近代化の過程

と、その都市化が、このように、近代化の過程

と、その都市化が、このように、近代化の過程

⑤ 都市の発展と構造の着目
都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

項目と項目との関係

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

都市の発展と構造の着目

何故に本調査項目が必要とされたか
項目で、あるかの把握（都市計画）
総世帯の解明のみが目的ではない。
大きく分けて都市の概観と都市の本質
構造を調べる。また都市調査は自
ら行う所でも、都市の社会経済の
調査には必要ではなからぬ。格別の調
査士を充てずとも、都市の発展に
関する調査は世界と職場の関係に
ついてある。その必要なるものは
つまずく事もある。都市の発展に
影響の大きいものがある。

或の人が評して、やはり調布です。は役立てなくて、あの項目を讀むと、大で町村の祝祭に役立っている。と、この人が、うおしいと、た都市について、その點のな、基となる。る点、半の具体的な実の上に、見出し、後、協定調査項目をさかした。その結果、あるのが本項目である。立、端的に、調査得たものとして、この調査関係の、協定の、型を、その上、と、色々の、型の、都市の、特徴は、本項目による、是、何かに、把握、され、た。組織的に

とはそれなりにはなつていゝも力一杯考えて
見たのが元であつた。

その都々の将来への

とにしていゝ。

又改題

『あやめ』

新装あゝ

変をさへなうと考へてゐる。

結果
おろ

そのもの

都市の発展を促すには、都市の発展に必要となる交通の便を高めることが重要である。交通の便が良ければ、都市の発展も進む。交通の便が悪いと、都市の発展も遅くなる。交通の便を高めるためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

送達機関

送達機関

交通機関の発展は、都市の発展に必要である。交通機関の発展が、都市の発展を促す。交通機関の発展が悪いと、都市の発展も遅くなる。交通機関の発展を促すためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

交通機関の発展は、都市の発展に必要である。

②

都市の発展は、都市の発展に必要である。都市の発展が、都市の発展を促す。都市の発展が悪いと、都市の発展も遅くなる。都市の発展を促すためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

都市の発展は、都市の発展に必要である。都市の発展が、都市の発展を促す。都市の発展が悪いと、都市の発展も遅くなる。都市の発展を促すためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

交通機関の発展は、都市の発展に必要である。

都市の発展は、都市の発展に必要である。都市の発展が、都市の発展を促す。都市の発展が悪いと、都市の発展も遅くなる。都市の発展を促すためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

都市の発展は、都市の発展に必要である。都市の発展が、都市の発展を促す。都市の発展が悪いと、都市の発展も遅くなる。都市の発展を促すためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

交通機関の発展は、都市の発展に必要である。

交通機関の発展は、都市の発展に必要である。

都市の発展は、都市の発展に必要である。都市の発展が、都市の発展を促す。都市の発展が悪いと、都市の発展も遅くなる。都市の発展を促すためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

都市の発展は、都市の発展に必要である。都市の発展が、都市の発展を促す。都市の発展が悪いと、都市の発展も遅くなる。都市の発展を促すためには、道路の整備や公共交通機関の充実が必要である。

「ト、各説批判」中「なる要領」の
要旨

④ 都市の生活構造

政治的、経済的、社会的、そのまゝの純
粋な都市生活の構造に及ぼして

市街の現況に及ぼして、同様に

いふ、都市生活の中心地、生活の
中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

中心地、生活の中心地、生活の

基本時系列認識の必要

都市を断片的に認識したり、

地を見つらし度をも活用する。この

中核

んがほか、認識して、その多くの

認識を要す。般所任事には世の

であらうが、その歴史の認識は

ないとしても、そんな都市的意識で

その実力に物を見る。

大なる都市計画を考へたり。

来に存す。大なる都市意識を用や

のは、認識の目的のためか。子供に

ヒストリーを述べて、その歴史である。

都市が、大なる都市になり、都市

の体系的認識は、不可視であるか。

胸に思ひをこめて、今作の秋
に就き、研ぎに就いても一顧もしない
といふ人もある。都部がたふすはあま
り解り解さぬいかにうたふさむに
あつてまゝかよふ。やくとも都市にあら
ない口をあたのほつゝいふのをあてあ。
史下説解は身体のこと、新字に解つて

もあるのであるが、解つたやうに解さの
はその部分か東へまゝといふ一書、痛み
感へいかなうか。痛くならぬと云ふ
しよといふと、いふハ、眠の上につも流

解したら一へんの考へていふところ

⑤

峠道の素と素の流は面白いが、十年
前の素と素は今ではナラセズで
ある。しるべきである。

聚落生活を生きたし、水一條件は
生産のみの地理的條件が二條件
に経済的要素とあり、統治され、
存続される素とあり、水一條件を
生活の欲求充足のみの素との交代
を育成して来たのである。

これと、十年昔の素の素と素とが、今では
ナラセズである。然るに、素と素とを
みれば、水一條件が、今では水一条件

聚落と素

聚落は人々の生活の立地条件にあり、素

と素、その素は統治者の統治対象

とあり。素は統治対象となる。

別荘は素と素とを、素の本拠が素と素と

統治者の素と素とを、素と素とを、素と素と

行為の素の素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

素と素とを、素と素とを、素と素とを、素と素と

今では第一條件の内容が変つてゐる。

併し旧來の場合に多いのは、物々交換の

社會ではそんな交渉の土壌に成つてゐる。

第一條件は、^(場合がある) 農民が互の土地にある。

その千年前の條件である。今では、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

次の千年前には全く異なる。あり、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

力の統治の要素となり、行政的に定め

られた生活の枠組もある。それは、もつて

いふ。力のこの行政的枠組の内

に生活が、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

の構造やその内の方の均衡がある。

めで成るして、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

それ、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

②

○都市経済と政治

凡そ、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

は、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

つた。^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

して統治の枠は、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

足る事がある。

統治の枠の、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

経験は、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

は、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

か、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

人間の、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

自分の、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

より、^{(おまが、生業の條件のためである。これは、} 互の

[illegible]

又は結成の機關に
 佛市正國のいふ生學に從事し
 てゐる。都市はかゝる地方経済的
 機關の集つてゐるところであるか
 ら、都市そのものが経済の中心と
 して見られるものである。
 ところで現代社會に於ける都市のこゝに
 経済の中心は
 第一に半行政的機能をも
 第二にその経済的機能をも
 第三にその市民の生活機能
 を備へてゐるわけである。
 けしといふ行政的機能も経済的機能
 も

12

[illegible]

2

15

7-50

第二歩は都市における、経済組織の完明
 経済的方面の、統治の組織も亦法を金口
 に劃一的であらうから、人々には都市の調
 子に統一を考へておる。時には、行政事務とい
 う公理的なもので、調子結果をそのまゝに用ゐる
 事で充ちておる。と申す方が多し。

現代都市にあは

10

張
氏
氏
氏

市民生活環境文化施設
路名の二に活動してつるものであ
るが、都市生活の認識第一
要は文化交流施設の検討から
初められなければならない。
都市政策の第二歩は職場の
生活と世界の生活に分れてい
く。各自給自足性を失ひた易
い。都市住民の生活の破壊
である。

自給自足型を失つてゐる都市低所得者が、
はたして下は否、一交易の過程に

このころは東京の
おとろけ

伝説といふのは、口民市場の整
備と全般的な整備をいふとい
ふ。口民市場は口民市場の
整備とその全般的整備の上の、子
口民市場を整備といふ。

(3)

都市計画の発展は都市計画
に及ぼすといふ生活計画の整
備が都市計画の政策の中心に
置かれるべきものであるとい
ふ。

長期に亘る都市計画を同じに
するより、都市計画は、及ぼす

因定して致事として、張方の都市
の隠微こそ丁未の至るに都市を
流の正しく第一歩である。流矢を
流に任せて静止して、矢と流
とがから始め、のちには正なる
第四歩は都市の中心に足場
としての機軸としての大建屋に
なる。然るの同様の検討である。
市況都市の機軸である。
第五歩は原の建設としての機軸の
同様の同様の建設。近代都市の
才力界の歴史史とある。
近代に七代とあるが、
これは七代とあるが、
これは七代とあるが、
これは七代とあるが、

近代都市調査視察

即ち一家風の都市観望の

視察とは近代都市の考察は必

ず要するところである。

その地の歴史には多岐に亘る巨工を

近代都市はあちこちに見られる。

それより、その土地の歴史を、

都市の発展の過程を、

その歴史を、その土地の

歴史を、その土地の

人の近代都市を形成させたか

は、近代都市の歴史を、

その土地の歴史を、

巨大な近代都市の歴史を、

その土地の歴史を、

近代都市の歴史を、

廣さや

るに

場の支路の長やそこを

着脱するで駅や橋の構造や

敷設、埠頭、おのり、橋、

設備、^{港の}船の総

トン数や同化する海外の港

停車場の敷やそこを

す。汽車、四の乗降、

そんな交通、人の流れ、

合して、外、^現は、

手は、その都市の、

半分以上、正しく、

が、ある。そんな、

し、な、道、能、や、文、

力、は、知、り、な、い、

か、り、は、知、り、な、い、

か、り、は、知、り、な、い、

か、り、は、知、り、な、い、